

UNSW 研修事後アンケート

プログラム全般についての感想

- たくさんの「初めて」に触れて、人間的に大きく成長できたと思います。
- 17歳でしかできない、本当に貴重な体験ができた。行ってよかったと思う。
- 行ってよかったというのが一番の感想。現地でしか感じる事のできないものをたくさん得られたと思う。
- このプログラムを通して、普段できない体験をすることができてよかったです。特にオーストラリアで過ごすことで今までより心が強くなったと思います。
- 自分の中で迷っている部分があったのが、今回の研修で一歩進めた気がする。英語だけでなく、たくさんのことを学べて、本当に有意義な時間だった。後輩にも同じ経験をしてほしい。
- 英語力とかの不安はあったけれど、行ってよかった。自分の思っていることを英語で伝えようとする力がついたと思う。
- 充実していて忙しく、あっという間だった。
- 少し慌ただしかったが、ぎっしりと詰まった内容で楽しかった。
- とても充実していた。学びの多い2週間を過ごすことができた。

UNSW の印象

- 広大で、きれいで、設備が整っている。学生達も親切。先生方もすごく懸命に拙い英語を聞いて下さった。
- メンターの方の情熱がすごくて圧倒される部分が沢山あった。大学自体も新しく、過ごしていて気持ちがよかった。
- 多国籍というのが第一印象。色々な人種で、色々な宗教で、色々な考えを持つ人が一堂に会している感じがした。
- 大学生はとても接しやすいし、親切でよかったです。授業も先生がヒントをくれながら考えていくという形でよかったと思います。
- 沢山の留学生がいて、英語以外の言葉が飛び交う不思議な空間だった。先生や学生の情熱がすごくて、関わることでとても刺激を受けることができた。
- 広い。大きい。学生が本当に賢そう。東洋人がわりと多い。
- やはり大学ということで、自由な空気感だった。皆、親切だった。
- 日本の大学より広い。生徒が皆、生き活きしている。「とりあえず大学行こう」という意識の人はいなさそう。
- 美しいキャンパス。留学生を多数受け入れている。

プロジェクト（チャリティ活動など）を通して感じたこと

- チャリティを広めるためのプレゼンを行ったが、日本にもあるのに知られていない活動などを知るよい機会になった。
- 日豪でのチャリティへの姿勢の違いや授業の方針の違い。
- オーストラリアの人は日本よりも全体的にチャリティーに関しての知識が豊富だ感じた。プレゼンは難しかったが、ここまでチャリティーのことにについて深く調べたのは初めての経験だった。
- オーストラリアでの組織の活動を知ることができてよかった。実際に募金活動をするところまでしたかった。
- 自分が世界で通用するまでに、足りないものがたくさんあることを痛感した。
- チャリティ活動自体をできなかったのが残念。インタビューなどを通して、知らない人に英語で話しかけることが少しでもできるようになった。
- 回答なし。
- 人にもよるが、アンケートにとても丁寧に答えて下さる人が多くて嬉しかった。調べた機関のチャリティーの内容自体が、日本のものよりしっかりしていて驚いた。
- チャリティ活動を「する」のではなく「どうやって始めるか」という視点でプレゼンテーションしたことで、客観的に物事を見る力がついたと思う。

ブルーマウンテンの感想

- 英語をもっと使いたかった。現地の方と一緒に行きたかった。
- 日本では見る事のできない雄大さ、自然の偉大さを感じた。ちょうど虹がかかっっていて、本当に感動した。
- 大きな国ならではの雄大な自然を感じることができた。特に上から虹を見下ろした時には感動した。これも地元の人が環境を大切にしてきた努力の賜物なのだったと思った。
- とても景色がきれいでした。また、ロープウェイなど乗り物に乗って自然を見られたのがよかったです。
- 偶然虹がかかっている景色を見ることができた。本当に幻想的だった。海外の自然を感じる事ができてよい経験になりました。
- 行った日は虹もかかっっていてとてもきれいだった。大自然を見ることができて気持ちよかった。
- 楽しかった。フリーデイに行ける所ではないのでみんなで行くのにはいい場所だったと思った。
- 日本では見る事ができないような視界いっぱいの森が圧巻だった。今回は時間の都合で回れなかったこともあったので、またいつかゆっくり回ってみたい。
- 日本では見られない絶景に感動した。

先住民についての学習の感想

- 興味深い事実を知ることができた上に、アボリジニのガイドさんの説明が本格的で面白かった。
- 世界に出て行くとき、日本の伝統、また他の国について知ることは何よりも大切だと思うのでよかった。
- 先住民に対する差別は世界共通で、負の遺産であるけれども、アボリジニの生活は現代の私たちの生活と全く違っていて強く興味を抱くと共に、記憶として残していく必要性を感じた。
- 先住民独自の生活の仕方や道具などについて知ることができてよかった。特に自然を大事にして、自然と共に生きているのがいいなと思った。
- 知らない事を深く知ることができてよかった。エアーズロックなどにも行ってみたかった。
- オーストラリアは移民が多い国であるが、先住民について知ることもできてよかった。
- 特別詳しい説明ではなかったが、アボリジニの絵が表す意味などの説明は面白かった。
- 上手に自然を利用して暮らしていたのだと思った。自然の物を活かして武器や生活用品などを作っていた知恵に感服した。
- 大学の先生のお話で、深く理解することができた。

高校訪問についての感想

- 同世代の生徒と会話することがトレーニングになって、よい経験であった。授業を受けてみて、留学するとはどういうことか思い知った。
- 同世代の、日本とは全く違う場所での生活の様子を知ることができて楽しかった。
- とても自由で、生徒と先生達が、いい意味で距離が近かった。バディは私の英語力に合わせて説明してくれて、おもてなしの雰囲気 が表れていた。
- 私は「英語・数学・美術」の授業に参加しましたが、英語が特に難しかった。しかし高校生達と一緒に授業を受けたり、お別れパーティーをしたりして、楽しかった。
- 同世代の生徒と知り合い、日本の教育との違いを感じられたのは自分の中でとてもインパクトがあった。最後のパーティーは本当に心を通じ合えた気がする。
- 同い年の生徒と英語で、しかも日本で習ったような同じ内容の授業を受けることができて、新鮮で面白かった。音楽で盛り上がったのも楽しかった。
- 本当によい経験だった。8組ではマレーシアの学生との交流等あったが、それとは全く違ってとても楽しかった。学生は世界中のどこにいても似たようなノリがあり、感銘を受けた。違うのは言葉だけだった。
- 日本より活気がある。化学実験は本当に驚いた。まさか天井が焼けるとは思わなかった。
- 学生との交流を通じて音楽は国境を越えて人々を感動させるのだと思った。

ホームステイの感想

- アパートに一人暮らしの女性の家に泊まらせていただいた。とてもお喋りで親切でかわいらしい女性で、とても居心地がよかったし、「聞く」トレーニングになった。
- シングル女性とペットの猫の家庭。問題がないわけではなかったが、洗濯など自由に行え、楽しかった。
- ホームステイをすることで、一人の人として自立が促されたし、現地での普通の暮らしを体験することはとても貴重な経験だった。
- 女性姉妹二人の家庭。とても親切で、食事は毎日とてもおいしかったし、電車やバスの時間や行き方などを丁寧に教えてくれたので嬉しかった。
- 中国系母・娘の二人暮らし。受け入れになれているようで、同時期にも他の学生がいた。教えられていたこととは違ったが、自分で家族の中の位置を見つけることができたのでよい経験になった。
- ホストマザー一人。とても優しくしてくれて料理もおいしかったし、いろいろ話せてとても楽しく快適だった。
- 一人暮らしの女性。休みにどこかへ連れて行ってくれることはなかったが、居心地よくすごすことができた。食事もヘルシーでおいしくいい時間だった。
- 母・息子二人、他にホームステイ中の日本人男子と中国人男子。とても優しくしていただいた。聞いていたよりも放任であったことに驚いた。
- 50〜60代の働いている女性のお宅にホームステイ。ビジネスライクだった。実際の職業が、事前に聞いていたものと全く違っていた。大学から家に帰るのに通っていた道に街灯が少なく、街路樹がうっそうとしていたので怖かった。

英語力の変化・英語に対する態度の変化など

- 英語を使って外国人と会話することに躊躇しなくなった。少しはリスニング力がついた気がする。
- 間違いを恐れない姿勢はもちろん、リスニング力は確実に上がったと思う。
- 個人的には英語力がとてもついたかどうかは解らないが、英語は勉強の科目ではなく、言語なのだというふうに感じた。
- 日本ではなかなか学べない観点から英語を学べた。より礼儀正しい話し方や英語でのちょっとした討論を通じて自分を英語で表現する力が今までよりついたと思う。
- 完璧な英語でなくても、自分の考えを伝えることが大切であると気づいた。とりあえず話すという風に、英語を話すことへの抵抗がなくなった。
- ホストマザーにも英語力がついたと言われたから、そうなのだと思う。最初にくらべたらマシという程度だと思うから、もっと勉強したいと思った。
- やはり日常で話そうとするとき、単語が難しくなると出てこないので、いかに自分のいいたいことを簡単な文章に変えて伝えるか、ということが大切だとわかった。文法が多少間違っているけど、なんとか伝えることができた。
- 文法はどうであれ伝えればOKと思っていたが、前置詞などで意味が変わることもあるというのを軽視しており、What?と聞き返されて、申し訳なくなった。
- 自分の持っている知識をフル活用する技術を身につけられたと思う。

がんばったこと

- 類型クラスの人たちは、外国の方と接する機会を多く持っていて慣れていたり、普通クラスの人でもエンパワメントに参加していたりしていて、私が一番そのような経験が少なかったが、自分なりに積極的に色々な事に挑戦した。
- 積極的に色々な人に話しかけたこと。2週間の終わり頃には、きちんと前置詞や細かい部分を聞き取れるようになって嬉しかった。
- 道に迷った時に積極的に人に声をかけた。現地でしかできないことを考え、体験した。
- 慣れない場所でバスや電車がわからなくて戸惑うこともあったが、積極的に現地の人たちに尋ねてコミュニケーションをとることをがんばった。また、少しでもわかりやすく正確に自分の考えを伝えられるように努めた。
- 積極的に発言・反応すること。
- プレゼンテーション

- 記入無し。
- 知らない人に道を聞いたこと。色々な場所への道順を覚えたこと。バスはアナウンスなしだし、道は複雑なので、交通関係はとにかく大変だった。
- より積極的・先を読んだ行動をすること。

現在の思いを自由に書いてください。

- このプログラムに参加して、自分の中の色々な感覚が開けた気がする。また自分の英語力のなさを本当に痛感したので、今後の勉強へのモチベーションにつなげたい。
- 英語力の向上にとどまらず、高校生でしかできない貴重な体験。今だからこそ心に響く景色、町並み、言葉がある。ただ、将来に向かって志を持って日々を過ごしている人にしか感じ取ることができない感動・授業の楽しさがある。是非、長田生は、これからもずっとこのような体験をしていってほしいと思う。
- オーストラリアの人はとても親切で、助けを求めると、できるかぎりの手段を使って手助けをしてくれました。だからこそ、もっと感謝の気持ちを伝えたいのに、それを表現する言葉がThank you.しかで出てこない自分に腹立たしさやもどかしさを覚えると共に、もっと英語を勉強しなくてはいけないな、と思いました。オーストラリアに行く前は、どうせ海外に出て行く事なんて、人生でそうそうないのだから受験英語程度のレベルでいいや、と思っていたのですが、実際にオーストラリアに行って、自分とまったく違う人種で違う価値観を持つ人間と意見を交わすことのおもしろさを知りました。そして自分の英語力の未熟さを感じ、もっと話せるようになりたいと思いました。英語というのは世界とつながるたいせつな手段の一つであると思います。そしてその手段をものにする機会が私の目の前にあるのです。それを今まで見て見ぬ振りをして通り過ぎようとしていた自分が今では馬鹿らしく感じます。オーストラリアに行って本当によかったです。
- 今回が初めての海外でした。外国は日本より治安が悪かったり、人々が親切ではないというようなネガティブなイメージも持っていたが、実際に行ってみると、みんなとても親切に道を教えてくれたりしたので嬉しかった。イメージや周りからの情報ではわからないことがたくさんあったので、実際に行ってみて、自分で感じるということはとても大事なことだなと思った。ホームステイも色々な不安があったが、ホストファミリーとのおしゃべりはとても楽しかった。オーストラリアでの生活に慣れるまで、戸惑うことや少ししんどいと感じることもあったが、それを通して自分の心はいままでよりも強くなったと感じる。行ってみて初めてわかったことがたくさんあったので、これからも積極的に、このようなプログラムに参加していきたいと思った。今回、このプログラムに参加できてとてもよかった。
- この夏で自分の人生が変わったと思う。これからもこのプログラムが続いて欲しいです。ありがとうございました。
- 疲れたが楽しかった。時期をもう少し早くして欲しかった。英語で伝えるのは難しかったが、伝えようとすれば最終的には伝わったから、それが少し自信につながったと思う。このプログラムに参加するかどうかもとても迷ったが参加してよかった。
- はじめの3日間くらいは一日がとても長く感じられて、かなり苦しかったが、プレゼンの準備が始まり、残り一週間を切ると、一気に一日が短くなった。このプレゼンプログラムはとてもいいと思う。インタビュー形式のアンケートや、大学生のグループリーダーとの会話を通して作成していく手順にはとても意義を感じた。強いて言えば、プレゼンのリスナーが内輪だけだったのが残念だったし、おかしいと思った。グループリーダーや他の学生に聞いてもらってこそプレゼンテーションだと思う。
- オーストラリアに行って、まず日本の色々な物がとても愛されていると感じた。アニメ、漫画、ゲーム、ポケモン、日本食など。日本以上にたくさん寿司屋があり驚いた。日本製品。特にタクシーはほとんどトヨタ（かベンツ）。一般道を見ている限り日本車がとても多かった。また、喫茶店で紅茶が南部鉄器の茶瓶に入って出されたりもした。ダイソーもあった。（ただし\$1ではなかった）このようなことを書くと「異文化交流に行ったのではないのか。日本のあれこれについて書いてどうする」と言われそうであるが、それらの話題で現地の人と盛り上がったということもあるし、外に目を向けると、改めて日本の良さに気づけたということが、私が今回の研修で最も強く感じたことである。もちろん、オーストラリアの文化に触れたり人々の温かさについて思うことも沢山あり、また行きたいし、オーストラリアを好きにもなったが、それ以上に自国愛が強くなったというのが今の思いである。
- とりあえず無事に帰国できてよかった。自立心、積極性を磨くことができ、充実した2週間を過ごせた。